（地Ⅲ119F）

平成２６年９月２日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事　殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小　森　　貴

デング熱の国内感染症例について（第三報）

「デング熱の国内感染症例について」は、平成２６年８月２７日付（地Ⅲ113）及び同２９日付（地Ⅲ117）をもって貴会宛お送りいたしました。

その後、新たに１９名（全て代々木公園周辺への訪問歴あり。全て海外渡航歴なし。）のデング熱の患者が確認され、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部（局）宛別添の事務連絡がなされましたので情報提供いたします。

また、今般のデング熱の国内発生を踏まえ、デング熱の発生に関する対策が厚生労働省により取りまとめられました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関等に対する情報提供について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

事　務　連　絡
平成 26 年 9 月 1 日

各 ｛都道府県／保健所設置市／特別区｝ 衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局結核感染症課

デング熱の国内感染症例について（第三報）

日頃から感染症対策への御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 8 月 27 日付け厚生労働省健康局結核感染症課長通知（健感発 0827 第１号）及び同月 28 日付け同課事務連絡において、国内でデング熱に感染したことが確認された患者について情報提供したところです。その後の調査の結果、新たに 19 名（最近の海外渡航歴なし）のデング熱患者が確認されました（別添１）。厚生労働省においては、今般のデング熱の発生に関する対策を取りまとめました（別添２）。また、各症例について、関係自治体から、別添３から８までのとおり公表がなされていますので、情報提供します。

当面の間、全国の国内感染例の発生動向を定期的に取りまとめ、公表することとしておりますので、引き続き、医療機関から国内での感染が疑われる症例の情報が提供された場合は、直ちに当課まで情報提供をお願いします。

また、デング熱の国内感染疑い例に対する検査については、これまで国立感染症研究所において最終確認を行う体制としておりましたが、今後は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第１項及び第14条第２項に基づく届出の基準等について」（平成18年３月８日健感発第0308001号）に従って地方衛生研究所等での検査結果により、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項に基づく届出を受理していただくよう、お願いします。なお、引き続き、国立感染症研究所において、検査に関する相談等はお受けいたします。

貴職におかれましては、これらの対応につき遺漏なきよう、よろしくお願いします。

参考資料
別添１：デング熱国内感染事例　現時点での疫学情報のまとめ（平成26年９月１日）
別添２：今般のデング熱の発生に関する対策
別添３：さいたま市記者発表資料（平成26年９月１日）
別添４：柏市記者発表資料（平成26年９月１日）
別添５：東京都記者発表資料（平成26年９月１日）

別添６：茨城県記者発表資料（平成26年９月１日）
別添７：横浜市記者発表資料（平成26年８月31日）
別添８：新潟県記者発表資料（平成26年８月31日）

ホームページ
厚生労働省　デング熱について
（http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html）
国立感染症研究所　デング熱とは
（http://www.nih.go.jp/niid/ja/encycropedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html）

**別添１**

# デング熱国内感染患者　現時点での疫学情報のまとめ

平成 26 年９月１日
国立感染症研究所
ウイルス第一部
感染症疫学センター

| 症例番号 | 年齢性別 | 居住地 | 医療機関所在地 | 発症日 | 代々木公園 | 蚊の刺咬 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10 代女性 | 埼玉県 | さいたま市 | 8 月 20 日 | 行った (8/11，8/14，8/18) | あり | 8/27 公表 |
| 2 | 20 代男性 | 東京都 | 東京都新宿区 | 8 月 24 日 | 行った (日は未確定) | あり | 8/28 公表 |
| 3 | 20 代女性 | 埼玉県 | 埼玉県 | 8 月 18 日 | 行った (8/1, 4, 6, 8, 11, 14, 18) | あり | 8/28 公表 |
| 4 | 10 代男性 | 埼玉県 | さいたま市 | 8 月 16 日 | 行った (8/9～8/10) | 不明 | 9/1 公表 |
| 5 | 50 代男性 | 千葉県 | 千葉県柏市 | 8 月 27 日 | 周辺に行った (8/15，16，17，18，21，23，24，25) | あり (8/23) | 9/1 公表 |
| 6 | 50 代男性 | 東京都 | 東京都渋谷区 | 8 月 25 日 | 行った (毎日) | あり | 9/1 公表 |
| 7 | 10 代男性 | 東京都 | 東京都文京区 | 8 月 24 日 | 行った 8/20 頃 | 不明 | 9/1 公表 |
| 8 | 40 代女性 | 東京都 | 東京都新宿区 | 不明 | 行った (8/18) | 不明 | 9/1 公表 |
| 9 | 30 代女性 | 東京都 | 東京都渋谷区 | 8 月 24 日 | 行った (毎日) | 不明 | 9/1 公表 |
| 10 | 20 代男性 | 東京都 | 東京都渋谷区 | 8 月 17 日 | 行った (8/10 頃) | 不明 | 9/1 公表 |
| 11 | 10 歳未満男児 | 東京都 | 東京都渋谷区 | 8 月 21 日 | 行った (8/16) | あり | 9/1 公表 |
| 12 | 10 代男性 | 東京都 | 東京都新宿区 | 8 月 18 日 | 行った (8/11) | 不明 | 9/1 公表 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 30 代<br>女性 | 東京都 | 東京都<br>新宿区 | 8 月 23 日 | 行った<br>(8/10) | 不明 | 9/1 公表 |
| 14 | 40 代<br>女性 | 東京都 | 東京都<br>新宿区 | 8 月 28 日 | 行った<br>(8/20) | 不明 | 9/1 公表 |
| 15 | 30 代<br>男性 | 東京都 | 東京都<br>渋谷区 | 8 月 22 日 | 行った<br>(8/17) | 不明 | 9/1 公表 |
| 16 | 20 代<br>男性 | 東京都 | 東京都<br>港区 | 8 月 16 日 | 行った<br>(8/9～8/10) | 不明 | 9/1 公表 |
| 17 | 20 代<br>男性 | 東京都 | 東京都<br>江戸川区 | 8 月 25 日 | 行った<br>(8/20) | あり | 9/1 公表 |
| 18 | 30 代<br>男性 | 東京都 | 東京都<br>練馬区 | 8 月 24 日 | 行った<br>(8/17) | あり | 9/1 公表 |
| 19 | 10 代<br>女性 | 茨城県 | 茨城県<br>つくば市 | 8 月 23 日 | 周辺へ行った<br>(8/16～18) | あり | 9/1 公表 |
| 20 | 10 代<br>女性 | 神奈川県 | 神奈川県<br>横浜市 | 8 月 23 日 | 代々木公園周辺を通った。<br>(8/16-18) | 覚えて<br>いない | 8/31 疑い例<br>として公表 |
| 21 | 20 代<br>男性 | 神奈川県 | 神奈川県<br>横浜市 | 8 月 25 日 | 行った<br>(8/18) | あり | 8/31 疑い例<br>として公表 |
| 22 | 10 代<br>男性 | 新潟県 | 新発田市 | 8 月 24 日 | 代々木公園周辺を通った。<br>(8/20) | あり | 8/31 疑い例<br>として公表 |

別添２

# 今般のデング熱の発生に関する対策

○　今般のデング熱の患者は、いずれも代々木公園の蚊による感染と推定。
○　デング熱に感染しても重症化する場合はまれ。蚊に刺されてから 3-7 日程度で高熱が見られれば、早めに医療機関を受診していただきたい。
○　今後、同様の事例の発生も想定されるため、次の対策を講じる。

## １　国民等への適切な情報提供

・マスコミへの適切な情報提供
・厚生労働省ホームページに専用ページを開設
・国内向け・渡航者向けの注意喚起ポスターの配付

## ２　医療の確保

・医療機関にデング熱の発生について注意喚起
・医療機関にデング熱の診療マニュアルを配付

## ３　予防・まん延防止対策

・地方公共団体にデング熱対応マニュアルを配付
・検疫所で渡航者に注意喚起。入国者の健康状態を確認

## ４　サーベイランス・情報収集の徹底

・全国の地方衛生研究所への検査キットの配付
・全国の自治体や医療機関に対して、疑い患者の報告を依頼
・感染者の感染経路や行動の調査を実施

記者発表資料

さいたま市

報道機関　各位

記者発表資料
平成２６年９月１日（月）
問い合わせ先：地域医療課
担当：前場
電話：８２９―１２９２
内線２９１８

# デング熱の国内感染症例について

平成２６年８月２９日、さいたま市内の医療機関から、海外渡航歴がないデング熱患者の届出がありましたので、情報提供します。

本事例に関して、厚生労働省及び関係自治体と連携し、関係者調査を進めています。

## １．患者について

### （１）概要

・埼玉県内在住１０代男性。
・海外渡航歴無し。
・８月１６日、発熱、頭痛、筋肉痛等で発症、８月１９日、医療機関受診。外来（通院）にて経過観察、現在、病状は回復しています。
・原因検索の中でデング熱が疑われ、９月１日、国立感染症研究所の検査にて確定しました。
・８月９日、１０日、都立代々木公園を訪問していますが、蚊に刺されたかは不明です。

### （２）関係者調査

・患者と活動を共にした団体が所在している自治体が関係者調査を実施しています。

## ２．さいたま市の対応について

・市内医師会に対して、８月２７日付、デング熱の国内感染が疑われる事例については、速やかに保健所への情報提供を行っていただくよう協力要請をしています。

## ３．デング熱とは（別紙参照）

別添4

# 報道資料

平成 26 年 9 月 1 日

柏市

## デング熱の国内感染症例について

平成 26 年 9 月 1 日，市内の医療機関から海外渡航歴がないデング熱患者の届出が柏市保健所に提出されました。

患者の概要及び柏市の対応等について，以下の通りお知らせします。

1．患者について

(1)概要

・患者は柏市在住の 50 歳代男性。都内勤務。

・海外渡航歴なし。

・8 月 27 日夕方から発熱等症状出現し，8 月 28 日に夜間救急病院受診。解熱薬等処方されるも改善せず，8 月 29 日に市内医療機関を受診，同日より入院。

・症状は発熱のほか，関節痛，発疹，血小板減少等。現在も入院加療中。

・患者の血液検体を国立感染症研究所に搬入し，デング熱について検査を実施したところ，PCR検査の結果が陽性と判明した。

(2)推定感染地域

・関係者調査の結果，本件患者が発症前に代々木公園近隣において蚊に刺されたことが確認されている。海外渡航歴がないこと，及び同公園での感染が疑われる事例が発生していることから，当該地域での感染の可能性が疑われる。

2．柏市の対応について

(1)関係者調査

・現在，本件患者と一緒に活動していた者等について調査を継続中。

(2)相談窓口の設置

・柏市保健所に，デング熱専用相談窓口を設置。

窓口電話番号：04-7167-6777

対応時間：平日午前 9 時から午後 5 時まで

【本件に関するお問い合わせ先】
柏市保健所保健予防課感染症疾病対策担当　　広木、小倉
電話　04-7167-1254　　FAX　04-7167-1732

【参考】デング熱について

(1)概 要
・ 蚊が媒介するウイルスによる疾患で、アジア、中南米、アフリカ等の世界の広範な地域で流行している。
・ ヒトが感染しても、発症する頻度は10～50％で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹等が症状として現れる。
・ 予後は比較的良好な感染症だが， まれに重症化することがある。
・ ヒト（患者）― 蚊 ―ヒト という経路で感染するため、ヒトからヒトに直接感染することはない。

(2)症 状
・ 突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が出現する。
・ 潜伏期間(蚊に刺されてから、症状が出るまでの期間)は2～15日と言われており、多くは3日から7日で発症。
・ まれに重症化し、出血やショック症状を発症するデング出血熱や、デング症候群に移行することがある。

(3)治療法
・ 特異的な治療法はなく、対症療法が主体。
・ 現在のところ、有効な抗ウイルス薬はない。

(4)予防法
・ 国内では、ヒトスジシマカがデング熱を媒介する可能性がある。
・ 蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要。
・ 実用化されたワクチンは今のところない。

詳しくは，柏市保健所のホームページをご覧下さい。
http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061600/p020027.html

**別添5**

平成２６年９月１日
福　祉　保　健　局
建　　設　　局

# デング熱の国内感染症例について（第２報）

平成２６年８月２８日付でデング熱の国内感染症例について報道発表しましたが、都内医療機関から、新たに海外渡航歴がないデング熱患者１３名の届出がありました。

患者はいずれも都立代々木公園に訪問等をしていたことが確認されています。

なお、現時点で重篤な症状を呈する患者は確認されておりません。

８月２９日から８月３１日までに届出のあった患者の概要及び東京都の対応等について、以下のとおりお知らせします。

## １　患者について

| | 届出日 | 年代性別 | 発症日 | 推定感染日 |
|---|---|---|---|---|
| １ | ８／２９ | ５０代男性 | ８／２５ | 不明 |
| ２ | ８／２９ | １０代男性 | ８／２４ | ８／２０ |
| ３ | ８／２９ | ４０代女性 | 不明 | ８／１８ |
| ４ | ８／２９ | ３０代女性 | ８／２４ | 不明 |
| ５ | ８／２９ | ２０代男性 | ８／１７ | ８／１０ |
| ６ | ８／２９ | １０歳未満男性 | ８／２１ | ８／１６ |
| ７ | ８／２９ | １０代男性 | ８／１８ | ８／１１ |
| ８ | ８／２９ | ３０代女性 | ８／２３ | ８／１０ |
| ９ | ８／２９ | ４０代女性 | ８／２８ | ８／２０ |
| １０ | ８／２９ | ３０代男性 | ８／２２ | ８／１７ |
| １１ | ８／２９ | ２０代男性 | ８／１６ | ８／９又は８／１０ |
| １２ | ８／２９ | ２０代男性 | ８／２５ | ８／２０ |
| １３ | ８／３１ | ３０代男性 | ８／２４ | ８／１７ |

（８月２８日報道発表済）

| | 届出日 | 年代性別 | 発症日 | 推定感染日 |
|---|---|---|---|---|
| １ | ８／２８ | ２０代男性 | ８／２４ | 不明 |

## ２　都の対応について

### （１）都立代々木公園における注意喚起及び蚊の対策

患者が感染した可能性の高い場所の推定が出来ないことから、都立代々木公園において、利用者へ蚊に刺されないよう、本日より注意喚起を行っています。

また、蚊の発生を抑制するため、噴水池の水抜きを行うほか、集水マス清掃を実施します。

（２）都立代々木公園における蚊の病原体保有調査

当面、週１回、代々木公園内で蚊を採集し、デングウイルスの保有状況調査を行っていきます。

（３）相談先

ア　デング熱に関すること

デング熱に関することや蚊の駆除等に関することは、最寄りの保健所に御相談ください。

（保健所の連絡先は、東京都ホームページ（http://www.metro.tokyo.jp/）の検索窓に「保健所」と入力してクリックしてください。）

なお、９月５日（金）まで専用相談電話を都庁内に設置します。

| |
|---|
| 電話番号：０３－５３２０－４１７９<br>対応時間：午前９時から午後７時まで |

イ　都立代々木公園に関すること

都立代々木公園の利用等に関することは、建設局公園緑地部公園課（電話番号０３－５３２０―５４３６）までお問い合わせください。

| |
|---|
| デング熱は、ヒトからヒトではなく、患者から血を吸った蚊が媒介して、他の人に感染が拡がる疾患であり、今後、都内で感染が拡大する可能性は極めて低いと考えます。<br>また、感染した場合も、一般に一週間前後で回復すると言われていますので、過度な心配は必要ありません。<br>戸外に出るときは、肌の露出をできるだけ避けることや虫刺され防止薬を適切に使用することなど、蚊に刺されないような工夫を心がけてください。<br>なお、蚊に刺されて発熱等の症状がある場合は、かかりつけの医療機関などを受診してください。 |

資料提供

平成２６年９月１日　１３時３０分
照会先：保健予防課健康危機管理対策室
担　当：室長補佐（総括）　柴田　隆之
連絡先：３０１－３２１９（内線：3217）
午後６時以降の連絡先
０９０－４９４１－９０３５

# デング熱国内感染症例の発生について

## 1 概要

今般，つくば市内の医療機関に入院している患者の検体を，国立感染症研究所で検査を行った結果，デング熱の感染が確認されました。当該患者は海外渡航歴がなく，国内でデング熱に感染したと考えられます。患者は現在入院中ですが，快方に向かっています。

## 2 患者について

(1)年齢・性別　:10歳代，女性
(2)海外渡航歴　:なし
(3)蚊の刺咬歴　:8月16日-18日
都立代々木公園周辺に宿泊し，日中野外で活動した。
(4)発症・受診　:8月23日発症　8月27日医療機関受診し入院
(5)症状　:発熱，頭痛，血小板減少，白血球減少
(6)検査・診断　:8月29日に医療機関からつくば保健所へデング熱感染疑い患者について連絡あり
8月30日に県衛生研究所の検査で陽性
9月1日に国立感染症研究所における確認検査の結果，陽性

## 3 デング熱について

(1) 概要

- 蚊が媒介するデングウイルスによる疾患で，アジア，中東，中南米，オセアニア等の世界の広範な地域で流行しています。
- ヒトが感染してもデング熱を発症する頻度は10～50%。
- ヒト(患者)― 蚊 ―ヒト という経路で蚊を媒介して感染し，ヒトからヒトへ直接感染することはありません。

(2) 症状

- 潜伏期間は多くは3日～7日とされ，その後，発熱，発疹，頭痛，筋肉痛，関節痛などの症状がみられる。
- 通常の患者は発病後2日～7日で解熱し，そのまま治癒する。
- まれに重症化して，出血傾向やショック症状がみられることがある。

(3) 治療法

- 特異的な治療法はなく，対症療法をおこなう。
- 現在のところ，有効な抗ウイルス薬はない。

(4) 予防法

・ 国内ではヒトスジシマカ(主に昼間吸血する習性がある)がデング熱を媒介する可能性があるため，蚊との接触を避け，刺されないようにすることが重要です。

・ 具体的には

①長袖，長ズボンを着用するなど，屋外で活動する時には肌の露出をなるべく避ける。

②虫よけ剤などを使用し，蚊を寄せ付けないように注意する。

③室内も蚊の駆除を心掛ける。

④蚊の幼虫の発生源を作らないように注意する。

（蚊は水辺に産卵する。下水溝，廃タイヤの中や水桶等人工的な環境でも産卵し増殖する。）

(5) 参考

デング熱の県内発生状況　（人数）

| | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 患者数 | 2 | 1 | 1 | 3 | 5 | 2 |

※全て海外感染事例

※平成26年は本事例を含めず平成26年8月31日現在

## 4 県内の対応

・ 県民からの相談は，県内の各保健所および保健予防課で受け付けています。

・ 県内の医療機関へは本事例について情報提供し，疑い患者が受診した場合には保健所へ報告していただくよう，再度周知をはかります。

【県内の保健所および保健予防課の連絡先】

| 保健所名 | 電話番号 | 管轄市町村 |
|---|---|---|
| 水戸保健所 | 029-241-0100 | 水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町 |
| ひたちなか保健所 | 029-265-5515 | ひたちなか市、東海村 |
| 常陸大宮保健所 | 0295-52-1157 | 常陸太田市、常陸大宮市、那珂市、大子町 |
| 日立保健所 | 0294-22-4188 | 日立市、高萩市、北茨城市 |
| 鉾田保健所 | 0291-33-2158 | 鉾田市、行方市 |
| 潮来保健所 | 0299-66-2114 | 鹿嶋市、潮来市、神栖市 |
| 竜ケ崎保健所 | 0297-62-2161 | 龍ケ崎市、取手市、牛久市、守谷市、稲敷市、河内町、利根町 |
| 土浦保健所 | 029-821-5342 | 土浦市、石岡市、かすみがうら市、美浦村、阿見町 |
| つくば保健所 | 029-851-9287 | つくば市、つくばみらい市 |
| 筑西保健所 | 0296-24-3911 | 筑西市、結城市、桜川市 |
| 常総保健所 | 0297-22-1351 | 常総市、坂東市、下妻市、八千代町 |
| 古河保健所 | 0280-32-3021 | 古河市、五霞町、境町 |
| 保健予防課 | 029-301-3219 | |

相談受付時間：平日　8時30分から17時15分

別添7

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

平 成 2 6 年 8 月 3 1 日
横 浜 市 保 健 所 健 康 安 全 課

# デング熱国内感染例の発生について

平成26年８月29日に、市内医療機関から２名のデング熱を疑う患者の報告があり、本市衛生研究所で血液検査を実施したところ、いずれも陽性となりましたのでお知らせします。

患者はいずれも最近１か月以内の海外渡航歴はなく、８月16日～18日に都立代々木公園周辺に出かけていたことが確認されています。

なお、国立感染症研究所にて、詳細な遺伝子検査を実施予定です。

## １　患者について

| | 居住地 | 年齢 | 性別 | 職業 | 最近１か月以内の海外渡航歴 | 症状 | 発症日 | 入院の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 横須賀市 | 10歳代 | 女 | 学生 | なし | 発熱（39.5℃）、咽頭痛、発疹等 | ８月23日 | 有※ |
| 2 | 港北区 | 20歳代 | 男 | 学生 | なし | 発熱（39℃）、頭痛、倦怠感、吐気等 | ８月25日 | 有 |

※市内医療機関に入院中

## ２　推定感染地域

いずれの患者も都立代々木公園周辺に出かけており、他にも東京都、埼玉県及び新潟県において、都立代々木公園周辺に出かけたデング熱患者が複数発生していることが確認されています。

デング熱の国内感染は極めてまれなことから、都立代々木公園周辺でデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われます。

## ３　横浜市の対応について

・医療機関に対して、デング熱の国内感染が疑われる事例においては、診断前であっても速やかに情報提供していただくよう周知しています。

・市内の蚊のサーベイランス調査では、平成23年度からこれまでデングウイルスは検出されていません。（別添参照）

## ４　デング熱について

デング熱は人から人に直接感染する病気ではありません。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することではじめて感染します。

また、感染した場合も、一般に一週間前後の経過で回復すると言われています。

なお、ヤブ蚊に刺されて高熱が出た場合には、かかりつけの医療機関などを受診してください。

## ５　市内のデング熱患者届出状況

| | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| デング熱 | 6 | 4 | 6 | 3 | 11 | 11 | 5 |

※いずれの患者も調査の結果、海外での感染と考えられます。

別添　　横浜市内のヒトスジシマカ成虫生息状況調査結果（平成26年６～８月中間報告）


| お問合せ先 | | |
|---|---|---|
| 横浜市保健所健康安全課長 | 岩田　眞美 | Tel 045-671-2442、2467 |

平成 26 年 8 月 31 日
福祉保健部健康対策課

# デング熱の国内感染症例（疑い例）の発生について

## 1　概要

平成26年8月30日、新発田病院の入院患者が、県保健環境科学研究所のスクリーニング検査で、陽性となりました。確認検査を国立感染症研究所で行います。

当該患者は海外渡航歴がなく、国内でデング熱に感染したと考えられます。

## 2　患者について

(1) 年齢等　　：10 歳代、男性
(2) 海外渡航歴：なし
(3) 蚊の刺咬歴：8 月 20 日、都立代々木公園周辺
(4) 発症・受診：8 月 24 日発症、8 月 24 日医療機関受診し入院
(5) 症状　　：発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹
快方に向かっている。
(6) 検査・診断：8 月 30 日、保健環境科学研究所のスクリーニング検査で陽性となり、検体を国立感染症研究所へ送った。
国立感染症研究所では、到着次第、確認検査を行う。
結果判明は、早ければ 9 月 1 日（月）

## 3　関連情報

(1) 国内における患者発生状況（国内感染例）
3 例（東京都 2 例、埼玉県在住 1 例）
(2) 推定感染地域
関係者の調査の結果、都立代々木公園でデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われています。

## 4　デング熱について

(1) 概要
・蚊が媒介するウイルスによる疾患で、アジア、中南米、アフリカ等の世界の広範な地域で流行しています。
・ヒトが感染しても、発症する頻度は 10 %から 50 %で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹等が症状として現れます。
・ヒト（患者）― 蚊 ―ヒト という経路で蚊を媒介して感染しますので、ヒトからヒトに直接感染することはありません。

(2) 症状

・突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れます。

・潜伏期間は 2 日から 15 日と言われており、多くは 3 日から 7 日で発症します。
（潜伏期：ウイルスを持つ蚊に刺されてから、症状が出るまでの期間）

・予後は比較的良好な感染症です。

・まれに重症化して、出血やショック症状を発症するデング出血熱や、デング症候群に移行することがあります。

(3) 治療法

・特異的な治療法はなく、対症療法が主体となります。

・現在のところ、有効な抗ウイルス薬はありません。

(4) 予防法

・国内では、ヒトスジシマカ（主に日中で屋外で吸血する）がデング熱を媒介する可能性があります。

・蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。

・具体的には、次のことが挙げられます。

①長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出をなるべく避ける。

②虫よけ剤等を使用し、蚊を寄せ付けないようする。

③室内の蚊の駆除を心掛ける。

④蚊の幼虫の発生源を作らないように注意する。

蚊は、水辺に産卵する。下水溝、廃タイヤの中や水桶等の人工的な環境下においても産卵し、増殖する。

(5) 参考

デング熱（海外感染症例）の県内発生状況（新潟市を含む）

平成 18 年　1 人

平成 20 年　1 人

平成 22 年　1 人